



sato
HEALTHCARE INNOVATION
セルフメディケーションをサポートします

カラダと向き合う。
ユンケルを選ぶ。



そんなあなたに、
ユンケル、投入!!





かぜによる熱などの場合や疲れた時の栄養補給・滋養強壮
大人(15才以上)1回1本を**1日1回**服用します。 **第2類医薬品**

佐藤製薬株式会社 東京都港区元赤坂1丁目5番27号 お客様相談窓口：03-5412-7393 受付時間／9:00～17:00(土、日、祝日を除く)
ユンケル・オフィシャルサイト／www.yunkel.jp  ユンケル公式Facebookページ いいね!をクリック!! facebook.com/yunkel.jp

ユンケル® 黄芩液



hvc
human health care

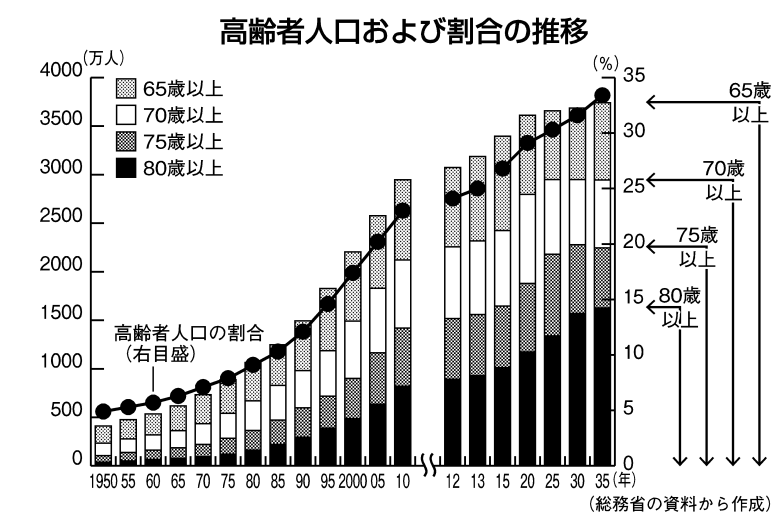
患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病氣とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることにはできませんが、
そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合っていたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病氣を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

エーザイはWHOのリンパ系フィリア病抑制活動を支えています。

セルフメディケーション



総務省が発表した統計によると、9月15日現在、高齢者の人口は318万人、総人口に占める割合は26%と過去最高を記録した。国立社会保障・人口問題研究所は、25年には3人に1人が65歳以上の高齢者になると推計している。医療費増加の課題に加え、生活の質（QOL）を高め豊かな生活を実現するためにモセ

OTC医薬品活用

超高齢社会、豊かな人生を

日本は超高齢社会を迎え、4人に1人が65歳以上（高齢者）という世界でも類を見ない人口構成だ。長生きを楽しみ、人生を全うするために自分で自分の健康を守る、セルフメディケーションに取り組み、健康を積み上げていかなければならない。また、セルフメディケーションは医療費抑制を実現する力キとなり、普及が促進されている。一般用（OTC）医薬品の活用、薬剤師・登録販売者への相談など、自らの判断と助言のバランスをうまくとることが将来の健康な生活へつながっていく。

要になる。

セルフメディケーションは軽度な身体の不調を自分で手当てして健康を管理する。長期間にわたる取り組みだ。09年に薬事法が改定され、OTC医薬品の販売制度が見直された。長期間、医療用医薬品として利用され、安全性の高い医薬品が医療用から一般用へ切り替わるスイッチOTC化が促進され、医師による処方箋を必要とせずに購入できるようになった。

OTC医薬品を副作用・相互作用（飲み合わせ）、使用方法の難しさなどで評価し、3段階に分類。第1類医薬品はOTC医薬品としての使用実績が少ないものや副作用で飲み合わせなどの項目で特に注意を要し、レジカウンターの後方の陳列棚や鍵付きショーケース

OTCは「オーバー・

し、OTC医薬品は薬剤師または登録販売者を通さなければ購入できない仕組みだ。現在、厚生労働省は医薬品のインターネット販売についての検討を進め、作業部会による議論がおおむね決着した。医薬品のネット販売は利便性が高い反面、リスクを伴う危険もある。薬事法の基本には医薬品の品質、有効性、安全性の確保が掲げられる。それでも、適正に使用しなければ効果は発揮されず、人体に有害な物質となる。

OTC医薬品の販売において、消費者への情報提供は薬剤師・登録販売者の責任。医薬品を選ぶ判断においても消費者の体質や症状、服用している医薬品などを聞き出し、適した医薬品を選ぶのが薬剤師。登録販売者の務めとなる。

OTC医薬品の役割

30歳以上の男性の約60%が高血圧症と言われている。自分の健康状態を理解する。自分の健康状態を理解する。

品が持つ副作用と有効性を科学的・客観的に評価・検証し、製薬企業と情報を共有することで安全で安心な医薬品の創出に貢献している。また、消費者に薬の適切な使用方を訴える、中学校、高等学校で行われている「薬教育」を支援している。同協会の黒川達夫理事長に、セルフメディケーションにおけるOTC医薬品の役割、使用方法について聞いた。

病気のリスク下げるために

し、病気へのリスクを下げていくべきだ。このためにはセルフメデイケーション、ＯＴＣ医薬品の使用が重要になる。ＯＴＣ医薬品は電気イカソリンと同じようにに生活のためにあり、少なく済むことが好ましい。

12年から中学校、翌年に高等学校で薬教育が実施されている。一「医薬品の使用方法を教育段階で指導することになり、セルフメデイケーションの普及が加速する」と期待している。高等学校ではレベルの高い授業が行われ、教師向けに医薬品について紹介するＤＶＤを作成し、日本薬剤師会を通して全国

くすりの適正使用協議会理事長
黒川 達夫氏に聞く

約6000学校に配布した
また、高等学校の教師に
308人が受講した。教
に医薬品の使用方法につ
て理解してもらい、それ
唱嚙して生徒に教育して
らう支援をしている」
消費者全般への支援
ありますか。
「分かりやすく正しい
報を提供するため、9月
日に協議会のホームページ
をリニューアルした。医
品名から作用・効果・保
方法・服用の注意点を紹
している。新たに、症状
ら約200件の病気を検
定できるようにした。見やす
い製品は使い方が工夫し
た。医薬品は使い方が工
の早い段階で医薬品の性
を知り、使ってもらいた
が我々の永遠の課題だ」


むくみの真実。

それは、足の血管の問題。
ちゃんとケアしたはずなのに、翌朝になっても足のむくみが回復しない。その原因のひとつは、血管がもろくなっていること。体の内側からの対策が大切です。だから**アンチスタックス®**。
赤ブドウ葉の自然の力で、体の中から血管を強化し、血流を促進することで、徐々にむくみを改善してゆきます。



飲む、足のむくみ改善薬

飲む、足のむくみ改善薬
アンチスタックス[®]

製品に関するお問い合わせは、エスエス製薬(株)お客様相談室
 **0120-028-193** 受付時間 9:00~17:30
 (土、日、祝日を除く)

詳細はこちら **アンチスタックス** **検索** <http://www.ssp.co.jp/antistax/>



第1類医薬品 効能：軽度の静脈還流障害による足のむくみ(重さ・だるさ)の改善

この医薬品は、薬剤師から説明を受けて、「使用上の注意」をよく読んで、正しくお使いいただきますよう、ご説明下さい。